

2024 年度 参加者募集

募集人数：13 名程度

地域におけるリサーチ型芸術実践（美術）のモデルケースとして、島／沖縄にクローズアップした多角的なリサーチ展示を制作するプログラムです。受講生はリサーチ型講座を経て「島／暮らし」をテーマに、信仰・社会・歴史・交易・環境・移民（移住）・観光・労働などの切り口から、フィールドワーク／インベスティゲーションを行います。このリサーチを通じて集めた資料や素材を「投壺通信」(message in a bottle) の形でまとめ、お互いのリサーチの成果についてディスカッションを行い、成果展へと結実させます。

応募締め切り 2024 年 7 月 31 日 (水)

* 定員に達し次第、募集は終了いたします。



QR コードよりお申し込みください。
QR コードが読み込めない場合は、
問い合わせ先へご連絡ください。

受講料：無料 *別途、材料費として 5,000 円ほどかかります。

参加条件：section1～3 の全てに参加できる方。記録用写真の映り込みにご協力いただける方。

対象：フィールドワーク・アートに興味のある方。一般、フリーランス、学生の場合は大学院生以上。

section 1 オリエンテーションへの参加

オリエンテーション (オンライン) *募集締め切り後、参加者へ URL をお知らせいたします。

日程：2024 年 8 月 10 日 (土) 12:00-13:00・内容：宿題の発表、講座までに準備するもの、注意事項、など

section 2 リサーチ型講座への参加

リサーチ型講座 (対面)

テーマ：「不在の在」

内容：何かを失うことで生まれてくるもの。目の前の
"不在"を視覚化するレッスン。

講師：下道基行 (アーティスト)

受講料：無料 *別途材料費 5,000 円ほど。

- ・ 日程：2024 年 8 月 28 日～9 月 1 日 13:00～16:00
 - 8 月 28 日 (水) 「不在の在」の説明、作品鑑賞
 - 8 月 29 日 (木) 「不在の在」の探索、プレゼンテーション
 - 8 月 30 日 (金) 宿題の提出、ディスカッション
 - 8 月 31 日 (土) フィールドワーク (商店街エリア)
 - 9 月 1 日 (日) まとめ、ディスカッション

- ・ 場所：沖縄県立芸術大学 当蔵キャンパス 一般教育棟 101 教室
*フィールドワークの日は現地集合・現地解散となります。

下道 基行
(したみち・もとゆき)

1978 年岡山生まれ。2001 年武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。日本国内の戦争の遺構の現状を調査する「戦争のかたち」、祖父の遺した絵画と記憶を追う「日曜画家」、日本の国境の外側に残された日本の植民／侵略の遺構をさがす「torii」など、展覧会や書籍で発表を続けている。フィールドワークをベースに、生活のなかに埋没して忘却されかけている物語や日常的な物事を、写真やイベント、インタビューなどの手法によって編集することで視覚化する。2012 年光州ビエンナーレ新人賞、2015 年さがみはら写真新人奨励賞、2019 年 Tokyo Contemporary Art Award などを受賞。2019 年ヴェネチアビエンナーレ日本館参加作家。国内外での芸術祭や展覧会に参加し、出版物も多数ある。



section 3 成果展への参加

成果展：「message in a bottle 島と／詠む Vol.3」

会期 (予定)：2024 年 11 月 27 日 (水)～12 月 1 日 (日) *プレゼンテーション：11 月 30 日 (土)

- ・ 講座参加者は、8 月の講座を通じて集めた資料や素材をまとめ、1 週間の成果展を行います。
- ・ 場所 (予定)：沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館

リサーチ型プロジェクト 2024
「message in a bottle - 島の暮らし、島からの発信」